

（公財）神戸大学六甲台後援会だより（65）

令和3年度・新年度の開始

令和2年度はコロナ禍のために様々な大学行事が中止あるいはオンライン授業の実施になってしまい、教員を含めて学生も大学キャンパスに来ることがほとんどなく、六甲台キャンパスは閑散とした1年でした。それでも年度末の令和3年3月（令和2年度の最後）には、いつもより少し早めにキャンパスの花が満開になり、いつもの春を感じられる季節の到来を、新年度こそは活気あるキャンパスに戻ってもらいたいと願いながら桜花を眺めながらいました。

そのかいもあつてか、令和3年4月6日には、入場者の制限はありませんでしたが、令和3年度の入学式が神戸ポートアイランドホール（ワールド記念ホール）にて、午前には今年度の新入生が、午後には昨年中止になった入学式に代わり令和2年度の入学生のための入学式が1年遅れで、オンラインで同時配信されて無事に挙行されました。特に今年度は、学長をはじめ本部執行部の顔ぶれが一新され、新たな気分でキャンパス・ライブが始まるものと考えていたところでした。

三度目の緊急事態宣言

以上のように始まった令和3年度は、一部の講義を除き、通常の対面方式のものとオンラインを併用する形式で学期を開始したために、六甲台キャンパスにも学生が戻ってきたのですが、その後、入学式の前日の4月5日から神戸市にも「まん延

防止等重点措置」が適用され、再び不安な日々に戻り、防がりました。その中でも感染対策を十分講じながらの対面講義が実施され、生協食堂も再開して元通りになるかと期待していたのですが、キャンパス内ではマスクを外し、集団になって楽しそうにする学生の姿を見てみると、若者にはコロナはさほど気にならないのかなあという一抹の不安も覚えるところでした。すると案の定、感染者の増加と医療体制のひっ迫状況から、ゴールデンウィーク直前の4月25日から、東京都・大阪府・京都府と共に兵庫県にも3度目になる緊急事態宣言が発出され、今年度も講義は原則オンラインになり、生協食堂も臨時休業ということで、またもやキャンパスから学生の姿は消えてしまいました。現在は、昨年度同様、六甲台キャンパスには学生の姿はなく、再び寂しい状態に戻っています。

ウィズ・コロナとは？

令和3年度も当初は元に戻るのではとの淡い期待を抱きながら始まったのが、1カ月も経たないうちに令和2年度と同様の寂しいキャンパスでの大学生活になっています。ワクチン接種もなかなか進まず、日が暮れると各店舗は閉まっていて六甲道界隈も暗い街並みになっており、気分まで暗くふさぐような日々がまたもや始まりました。

ダイヤモンド・プリンセス号の感染症騒動から始まったコロナ禍騒動から既に1年3カ月が経過していますが、緊急事態宣言が出るたびにマスコミではコロナの危険が叫ばれています。感染者数の変動はあるものの、コロナの危険については同じような内容の繰り返しで、いったい1年前のゴールデンウィーク

に叫ばれていたウイズ・コロナとはどのような内容で、何が改善されたのかは全く分からないような暗中模索の状態が続いています。

もちろん生命への危険があることは理解できますが、ここまですで長引く自粛にもどのような意味があるのかについて、本学の学生を含め多くの若者が疑問を抱くのも分かるような気がします。コロナ対策よりも夏のオリンピック・パラリンピック大会開催に重点を置くような日本政府の対応、ウイルスの変異は予想されていたのにそれに対する対策を講じることなく市民に自粛ばかり強い公の機関の措置がウイズ・コロナの内容なのでしょう。

そろそろ終わりにしてもらいたい市民の自粛

我々市民、特に若者の間では、自粛疲れが広がっていることもマスコミで報道されています。それは、街飲みの拡大といった形で映像が流されていますが、筆者のように大阪から電車ですら通うものにすれば、通勤の車内は相変わらず混雑しているし、夕刻8時を過ぎて帰宅の途につき場合の車内では街飲みの一環として車内で缶ビールやカップ酒を飲んでいる人を見れば見かけます。マスクを外してそのような街飲みをしている人を見かけると飲食店の自粛は一体何なのかという気がしてきます。

ワクチン接種の遅れはどこに問題があったのか、ワクチンを使う医療関係者の数が不足しているといわれますが、それはなぜそのようなことになるのか、特に医療機関のひっ迫状況が明白な京阪神地域では、なぜそのような事態に至ったのか、これまで自治体は一体何をしてきたのか、このような問題の検証を

することなく、市民に自粛ばかり強いてきた公権力の方は、集団での会食が色々なところで行われていることなども報道されていることから、本当にわが身になって問題に対処しているのかを疑ってしまいたくなります。

コロナに対処して下さっている医療関係者には頭の下がる思いがある一方で、コロナ対策に正面から向き合って適切な対応をすべき立場にある公務員・政治家の言動には納得できない面が多々あるように感じられています。

令和3年度も事業実施に支障がある可能性が

以上のような状況で、コロナ禍がおさまってくれないことには六甲台後援会の事業実施にも支障が出る可能性があります。特に、海外への出張、海外からの日本入国に大きな制限がついている現状では、昨年度同様、一定の制約がかかってくるようになります。

皆様から頂いた寄附を適切に使用しようと考えて事業計画を作成しておりますが、コロナ下での本財団の事業については、その実施に制限がかかることをご理解いただければ幸いです。

令和3年度事業計画について

公益財団法人神戸大学六甲台後援会は、財団設立以降、主に本学の社会科学系部局の学術の発展と教育の充実に寄与することを目的として次のような事業を行っています。

- (1) 学術交流の促進に対する助成
- (2) 学術成果の公開に対する助成
- (3) 教育の充実に対する助成

(4) 学術基盤の整備に対する助成

(5) 学術交流施設の維持管理

このような各種事業は、皆様から今までにいただいた寄附金の運用収益や新たに卒業生の皆様等からいただいた貴重な寄附により行っています。

さて、令和3年度事業計画につきまして、その概要をご報告申し上げます。

事業計画は、昨年12月、社会科学系各部局に対して助成事業の募集を行い、応募申請された各種事業について助成事業選考委員会において、それぞれの事業が本財団の公益事業として相応しいかを審査し、その結果を基に理事会において審議・承認されたものです。(単位万円)

1. 学術交流の促進に対する助成 計 2,080

(1) 海外研究活動支援 1,210

ア. 海外派遣支援

(2) 学会・シンポジウム・カンファレンス・ワークショップ

プ等開催支援 870

2. 学術成果の公開に対する助成 計 120

(1) 学術研究成果刊行に対する支援

3. 教育の充実に対する支援 計 1,924

(1) 学部学生の教育に対する支援 764

ア. 成績優秀者に対する奨学金支給(社会科学特別奨励賞)

イ. 4年間の成績優秀者に対する支援(六甲台賞)

ウ. 各部局における各種教育プログラムに対する支援

エ. 学部学生の海外派遣に対する支援

オ. 学部相互履修科目開講支援

カ. 寄附講義開講支援

キ. キャリア形成に対する支援

(2) 大学院学生の教育に対する支援 810

ア. 各部局における各種教育プログラムに対する支援

イ. 大学院生の海外派遣に対する支援

ウ. 神戸大学MBA加護野忠男論文賞

エ. エクスターンシップ実施支援

(3) 特定の基金による学部学生及び大学院学生の教育に対する支援 350

ア. 凌霜研究奨学基金による教育に対する支援

イ. 田崎奨学基金による奨学金支給

ウ. 久研究奨学基金による海外研究活動に対する支援

4. 学術研究に対する支援 計 650

(1) 研究プロジェクトに対する支援

(2) 社会システムイノベーションセンターに対する支援

(3) 特定の基金による学術研究に対する支援

ア. 襄山研究奨学基金による学術研究に対する支援

5. 学術基盤整備に対する支援 計 120

6. 学術交流施設の維持管理による学術交流の促進に関する事業 計 30

合計 4,924

いつも皆様のご寄附誠にありがとうございます

前号でご報告させていただいた以降、年度末までに次の皆様

からご寄附をいただきました。

稲垣 滋様(昭45経済) 10万円、佐藤禎雄様(昭31法) 10万円です。これで令和2年度中の受入額は、合計1,224万4,700円になりました。

令和3年度になってからは(5月10日現在)、高橋宣光様(昭40法)、風早正幸様(昭43営) 各1万円、吉田昭彦様(昭32営) 2万円、三宅基治様(昭44経済) 3万円、安藤幹雄様(昭45法) 5万円、後藤英雄様(昭30営) 10万円、高崎正弘様(昭34営) 30万円です。誠にありがとうございます。

毎回お願いしています寄附金の送り先は左記のとおりです。

また、本財団ホームページからもご寄附(クレジットカードによるご寄附、インターネットバンキングによるご寄附等)いただけますのでご利用ください。よろしくお願い申し上げます。

◎銀行送金の場合(銀行からの連絡が遅く、領収書送付が遅れないようにするため、お葉書でも電話・FAXでも結構ですから、送金のことについて事務局にご一報ください)

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合(通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください)

口座番号 00980-9-116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎本財団ホームページからのご寄附

ホームページ「ご寄附」のWEB申込みフォームからご寄附

いただけます。 <http://www.rokkodafund.com>

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078) 861-3013

E-mail: k-koenkai@rokkodafund.com